



Amandari

バリ島にはアマンリゾートが3軒ある。Amanusa、Amankila、そしてウブドにある Amandari である。アマンドリはバリ島で初のアマンリゾートとして 1989 年に誕生した。敷地内は、川の石を敷き詰めた趣ある小径に沿って両脇に苔むした石塀に囲まれ、伝統的なアランアランの葉で葺いた屋根の建物 30 棟のスイートが並んでいる



そのまま進むと、溪谷へと流れ落ちるようなデザインのプール。エメラルド色のタイルが周囲に溶け込んで、まるで絵画のようだ。アマンドリとはサンスクリット語で“平和な精神”という意味を持ち、その名の通り、訪れるゲストに癒しと極上の寛ぎの時間を提供している



いかにもアマンドリらしい風情の案内板



笑顔でゲストを出迎えるアマンドリ「Amandari」のレセプションスタッフ



伝統的なアランアランの葉で葺いたラウンジ（日本で言う萱葺き屋根）



アマンドリの中心にラウンジは位置し、プールを望みゆったりと時間が流れる



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974 年 Munich Re 入社。
2001 年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会専務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連連協会
アドバイザーボードメンバー。
www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>



ココナッツの柱が並び、フロアを覆うジャワの大理石や火山岩など、はちみつ色のトーンでまとめられたオープンエアの回廊

Amandari

バリ島にはアマンリゾートが3軒ある。ヌサドアの「Amanusa」、バリナ・ビーチの「Amankila」、そしてウブドにある「Amandari」である。アマンドリはバリ島で初のアマンリゾートとして 1989 年に誕生した。ウブドの中心地から車で約 10 分、周囲の鬱蒼とした密林、眼下から届く清流のせせらぎなど、溪谷を見下ろすクデワタン村のロケーションを見出したアマンドリはまさに先見の明といえる。アマンの名を知らしめた伝説のリゾートは、世界中の富裕層たちが望むスピリチュアルな地としてウブドを目指す

ようになる。この地はフォーシーズンズリゾート アット サヤン（本誌 Vol. 217）やロイヤル ビタ マハ（次回掲載予定）など代表的なラグジュアリーホテルがアユン溪谷沿いの景勝地に展開する先駆けとなった。

アマンドリとはサンスクリット語で“平和な精神”という意味で、その名の通り、訪れるゲストに癒しと極上の寛ぎの時間を提供している。リゾートの敷地はウブドの村をそのまま模した形でデザインされていて、その小道にはウブドの村人たちが行き交う様子もうかがえる。建物の配置はバリ・ヒन्दウーの宇宙観に従い、方角や形状などが考慮される伝統的な村落を参考にアマンダ



メインダイニングはプールとアユン渓谷を見渡すオープンエアの気持ちの良いレストランで、ガムランの演奏が毎晩行なわれている



ワンティラン（地元の集会場）のような意味合いを持たせた、オールデイダイニングのラウンジ



大人の雰囲気のリブラリーラウンジ



フロアを覆うジャワの大理石と木の天井材、そして伝統的なジャワの建具などが調和した本館廊下



曲がりくねった小道がスパ施設「Aman Spa」がある静かな蓮池の畔へと続いている



水に囲まれた静かなオープンエアのトリートメント・パレ。この隠れ家にはビューティールーム、サウナ、スチームルームが完備されている

りはデザインされた。

ココナツの柱が並び、フロアを覆うジャワの大理石や火山岩など、はちみつ色のトーンでまとめられたオープンエアのエントランスは、ワンティラン（地元の集会場）のようだ。今回は「Valley Suite」カテゴリーのスイートをご紹介したい。アユン川渓谷と緑あふれる水田の眺めを望む独立したヴァレー・スイートは専用テラスを含め広さ 220㎡の敷地を持ち、熱帯の樹林に囲まれた緑あふれる佇まいだ。メインダイニングはプールとアユン渓谷を見渡すオープンエアの気持ちの良いレストランで、ガムランの演奏が毎晩行なわれている。曲がりくねった小道がガーデンから優

雅なライブラリー、そしてスパ施設「Aman Spa」がある静かな蓮池の畔へと続いている。水に囲まれた静かなこの隠れ家には、オープンエアのパレ、ビューティールーム、サウナ、大理石のスチームルームが完備されている。

アマンドリの敷地内は、川の石を敷き詰めた趣ある小径に沿って、両脇に苔むした石壁に囲まれ、伝統的なアランアランの葉で葺いた屋根の建物 30 棟のスイートが並んでいる。そのまま進むと、渓谷へと流れ落ちるようなデザインのプールへ。エメラルド色のタイルが周囲に溶け込んで、まるで絵画のようだ。ここは安息と癒やしを希求する大人の贅沢なハイダウェイと言えよう。



「Valley Suite」カテゴリーのスイート室内。アユン川渓谷と緑あふれる水田の眺めを望む独立したヴァレー・スイートは専用テラスを含め広さ 220㎡の敷地を持ち、熱帯の樹林に囲まれた緑あふれる佇まいだ



伝統的なアランアランの葉で葺いた屋根の玄関がゲストを迎える



リビングエリアからキングベッド方向を望む



ヴァレー・スイート敷地内には坪庭風のテラスがあり落ち着く



大型のデッキチェアが置かれた専用テラスからバリ島ウブドのスピリチュアルな空気を味わえる